

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和元年度 第2回入間市博物館協議会
開 催 日 時	令和元年9月20日(金) 午前10時00分開会・午前11時30分 閉会
開 催 場 所	入間市博物館 会議室
議 長 氏 名	中林敦子 会長
出席委員(者)氏名	篠塚清治副会長 町田郁夫委員 中込勝英委員 内田さよ子委員 間野哲委員 田中晃一委員 横田力男委員 石川真弓委員
欠席委員(者)氏名	奥田貴哉委員
説明者の職氏名	加藤館長 石川副館長 加藤主幹 小田部副主幹 津久井副主幹 三浦副主幹 いるまミュージアムパートナーズ・飯島責任者
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	<令和元年度 第2回入間市博物館協議会> 1 開会 2 会長あいさつ 3 博物館長あいさつ 4 議事 (1) 協議事項 ①博物館の運営上の課題に対する指定管理者の役割について 5 その他 (1) 「平成30年度 博物館事業 外部点検評価シート」 のご提出 (2) 劇団・アミーゴ第3回アリット公演「加治氏の理」 のご案内 (3) 「秋の茶会」のご案内 (4) 特別展「史料で読み解く 狭山茶の歴史」のご案内 6 閉会  公開・非公開の別 全て公開
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	資料1 2018年度事業報告 2019年度事業計画
事務局職員職氏名	新見教育部長 関谷次長 加藤館長 石川副館長 加藤主幹 小田部副主幹 津久井副主幹 三浦副主幹 萱津主事 いるまミュージアムパートナーズ・飯島責任者
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項	
議 事 の 概 要 ( 経 過 )	<p>&lt;令和元年度 第2回入間市博物館協議会&gt;</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 協議事項 博物館の運営上の課題に対する指定管理者の役割について事務局より【資料1】について説明があった。</p>
決 定 事 項	<p>&lt;令和元年度 第1回入間市博物館協議会&gt;</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 協議事項 博物館の運営上の課題に対する指定管理者の役割について事務局より【資料1】についての説明があり、内容に関して各委員からの質疑応答が行われた。</p>

## 会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
	<p><b>4 議 事</b>  <b>(1) 協議事項</b>  <b>博物館の運営上の課題に対する指定管理者の役割について</b></p>
石川副館長	<p>議事に入らせていただきます。ここからは、博物館条例第15条第1項の規定により、中林会長に議長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
中林会長(議長)	<p>それでは議長を務めさせていただきます。委員の皆様のご協力をお願いいたします。本日は奥田委員の1名が欠席ですが、半数以上の委員の出席をいただいておりますので、博物館条例第15条第2項の規定により本会議は成立しております。なお、議事録の署名についてですが、議長と議長が指名した者となっておりますので、委員名簿順により今回は内田委員をお願いいたします。</p> <p>それでは、これより議事に入ります。(1)協議事項 「博物館の運営上の課題に対する指定管理者の役割について」。<b>【資料1】</b>について事務局説明をお願いします。</p>
飯島責任者	<p>指定管理者・入間ミュージアムパートナーズの飯島です。お手元の<b>【資料1】</b>をご覧ください。</p> <p><b>【2018年事業報告及び2019年度事業計画について資料1の内容を説明】</b></p>
中林会長(議長)	<p>ありがとうございました。それでは、ただいまの事務局の説明に対しまして、皆様のご意見・ご質問を賜りたいと思います。</p>
町田委員	<p>コンサートの来場者が少ないように感じました。赤字の心配はないのでしょうか。</p>
飯島責任者	<p>演奏者の人数にもよりますが、ギャラを含めて経費を15万円程度で想定しております。経費との兼ね合いで75名程度来場者が来ることを目標としていますが、残念ながらそこまで届かないという現状になっております。</p>
横田委員	<p>講座室を利用するのは良い考えですが、舞台は狭いと思います。コンサート等を行う際に問題にはなりませんか。</p>
飯島責任者	<p>元々パネルディスカッションやセミナーを行うための部屋ですのでやりやすいという訳ではありません。出演者は4名程度が限度になります。現状は可能な範囲で行っております。</p>
横田委員	<p>出演者の方たちはやりにくいでしょうか。</p>
飯島責任者	<p>舞台袖がある方がやりやすいという意見はありますが、説明しご了解を</p>

	<p>いただいています。</p>
内田委員	<p>コンサートについてですが、珍しい楽器のものも多く内容は素晴らしいと思います。PR の仕方をもっとうまくできないでしょうか。私も実施していたことを知らなかったコンサートもありました。この内容で 2000 円であれば興味ある人なら絶対参加すると思います。そこがもったいないと思いました。</p>
飯島責任者	<p>PR の仕方というのは検討課題であると認識しております。今後、常に考えていけないといけないと考えております。</p>
間野委員	<p>各事業ごとにアンケートを実施しているとのことですが、その際に連絡先を伺って次回のイベントの告知等はしているのですか。</p>
飯島責任者	<p>メールアドレスを記入してくださった方には連絡をしております。ただ、希望されない方もいらっしゃるのでは強制ではなく、希望者のみに送付しております。</p>
中込委員	<p>公民館で博物館の事業について話す機会があったのですが、知らない人が多かったです。公民館はこの地区でも会報を出しています。音楽に関するクラブも多いのでコンサートについては会報と連携して載せて貰うのはどうでしょうか。一度来てくれればまた来やすくなるので、当面は認知度上げてまた足を運んで貰うのが必要だと思います。</p>
中林会長(議長)	<p>ありがとうございます。他に意見のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>【意見なし】</p>
中林会長(議長)	<p>では私から 1 つ意見を述べさせていただきます。2018 年度と 2019 年度を比べると、2019 年度の事業については教室・講座については継続的に同じ方が繰り返し来られるようなもの、コンサートについては月 1 回必ず開催するという方針でよろしいでしょうか。</p>
飯島責任者	<p>はい</p>
中林会長(議長)	<p>どちらも認知度を高めるという点ではとても良いと思います。継続的に来られる方は固定客となってコミュニティのようなものができるのも良いことですし、コンサートでは今までの掘り起しとでも言いますか、「ここを好き」という方が必ずお越しになれるようなものを作っていただければいいと思います。</p>
飯島責任者	<p>コンサートの予約については電話やメールで受け付けております。事前に早い段階で予約をしてくれる方は大体決まっております。こちらもある程度把握しております。今後はそういった方を大事にするとともに、増やしていければと考えております。</p>
石川委員	<p>一回のコンサートは大体どの程度の時間になるのですか。</p>

飯島責任者	開演を3時、終演を4時30分としておりますので、大体1時間半となります。途中休憩があります。アンコールを求められると4時30分では終わらず、4時40分から45分くらいになることもあります。
石川委員	出演者の方のCD販売や握手をしたりということはあるのですか。
飯島責任者	最後に講座室の出口で面会と言いますか、お見送りを行っています。
横田委員	博物館とコンサートは馴染まない気がします。利用の仕方としてはありだと思います。ただ、全体として新しい客層を開拓するとなると、すでにこういったイベントを行っている公民館や他の公共施設との住み分けが必要になりますが、今のところ住み分けが難しいように思えます。ライオンズ展やトイレールはこの地域の特徴を利用するというので納得しやすいですが、他の催し物は他の施設とどうバランスを取っていくかが課題になると思います。
田中委員	私たちの仲間内でもコンサートの評判は良いです。集客面の問題はありませんが、時間の都合がつかなかったり、交通便の関係で行けないということがあり、仕方ない面もあると思います。内容は非常に良いので何年か続けていくことで改善されていくのではないのでしょうか。
飯島責任者	私も続けること、やめないことが大事だと考えています。
中林会長(議長)	差別化という意見がありましたが、その点については皆さん何か考えがありますか。
石川委員	「はじめてのスマホ教室」についてですが、スキルアップバージョンやカメラに特化した内容のようなものは考えていらっしゃいますか。 資料にあった写真には茶室で行っているものもありました。素敵な利用の仕方だと思います。茶室を利用するなら最後にお茶とお菓子を味わう機会を設ける等、お茶の雰囲気も楽しめるような教室も良いのではないかと思います。教室の授業料を考えると難しいかもしれませんが。
飯島責任者	タイトルは「はじめてのスマホ教室」となっておりますが、もう少しレベルを上げた機能の使い方の講座が良いのかなと思っております。 近頃ですとスマホのカメラ機能の向上が見られているため、カメラの利用に特化した教室やラインの使い方などの教室についてが良いかと考えています。
中林会長(議長)	他に事業について何かありますか。  【意見なし】
中林会長(議長)	それでは資料の6ページ目に広報活動について説明いただきましたが、それについてはいかがでしょうか。
中込委員	年間で目玉となる事業を公民館にも年度当初に知らせて、時期になったら公民館便りに載せてもらうことが必要ではないのでしょうか。公民館便り

<p>田中委員</p>	<p>は地元に着しているため、市民の方が目を通す確率が高いです。そういった所を通して知らせることで身近に感じてくれると考えます。</p> <p>先ほど横田委員が述べた内容も非常に大事な事だと思ひます。公民館や博物館、アミーゴなどで、それぞれすべき事業があるのではないのでしょうか。互いが競い合うとおかしなことになると思ひます。現状、博物館でしかできないことをしっかり考へておられると思ひますが、そういったものが市民の議題になってくるのが重要であつて、知られないと問題となつてしまひます。公民館でも良い企画はあるが、公民館ではできないことがここにはあるかもしれないです。その辺りの広報の仕方をどうするかということだと思ひます。その1つとして、先ほど中込委員が言われた公民館とのタイアップというのも手かもしれません。</p> <p>ただ、コンサートのようなものは博物館のステージでは難しいですが、聞きたい方が市民にもいらつしゃると思ひます。音響の問題などもあると思ひますが、関心ある方もいると思ひるのでボランティアを募集するのはどうでしょうか。</p> <p>極端な住み分けはしないでも、お互いが関連することでレベルアップしていくということがあると思ひます。</p>
<p>横田委員</p>	<p>質問です。市報にアリットに関するページがありますが、あそこには事業の内容は必ず載っているのでしょうか。</p>
<p>津久井副主幹</p>	<p>スケジュール的に間に合うものは、指定管理者の事業も同じ「博物館からのお知らせ」の枠に掲載させていただいております。ただ、入稿のタイミングに間に合わないということが稀にございます。その辺りは指定管理者と我々で調整しながら、漏れがないようにしています。ただ、事業の数が多く載せきれないことが時にございます。できるだけそういったことがないように努めてまいります。</p>
<p>飯島責任者</p>	<p>私としては、先々を考へ長期的に計画すべきと認識しております。今は、実施予定日までの期間が短いためにもっと色々なことができたはずなのに時間が足りずにできなかったということが起きている気がします。でするので、もっと先の企画から考へていきたいと考へております。</p>
<p>津久井副主幹</p>	<p>指定管理者制度として、指定管理者の方には5年という期間でお願いしております。1年単位で行っていく業務委託契約と違つて、先を見て計画していくということがしやすい形態です。残りまだ4年弱あるので、そのように先を見た計画を立てていただいて、最終的に来館者増加に繋がればと我々も思つているので、ぜひこれからも皆さんにご意見をいただければと思つております。</p>
<p>加藤館長</p>	<p>補足しますと、公民館、市民会館、アミーゴ、色々な部分で似たようなことをやっているというのは事実でござひます。私は以前に企画部門にいましたので、産業文化センター、振興公社等も色々な教室をやつており、差別化はなかなか難しいと感じております。市民の方の立場とすると、色々なところで様々な事業を行っているのはありがたいと思ひますが、市の立場とすると同じような事業を行っているのはどうなのかと、課題となっております。</p>

<p>中林会長(議長)</p>	<p>それともう 1 点、PR について、いかに市民に情報を届けるかということが課題として認識しております。そういった点からチラシ等を入間都市計画株式会社アイポットの中に置かせていただきました。またアミーゴの館長とも面会をして色々な部分でバッティングしないような話し合いをさせていただいております。また中込委員のおっしゃった通りに区長会の方と相談しながら二本木・宮寺公民館の公民館便りなどに情報を挟めないかを含め、まずは市内全域ではなく地元の方に足を運んでいただける形を考えていきたいです。今後については、市としてもミュージアムパートナーズと協力しながらPRしていくつもりです。</p> <p>ご説明を受けていかがでしょうか。</p> <p>【意見なし】</p>
<p>中林会長(議長)</p>	<p>それでは全体的なところで少しお伺いしたいのですが、私たちの答申の最終的な目標は指定管理者さんの役割についてお話するということですが、今お話があった住み分けや差別化といったことを前提として話をするのか、それとも集客のためならもっと積極的に動いて構わないといった選択肢のことを話していくべきなのか。私たちは何を前提として話すべきかが少し分かりづらいのですが、どうでしょうか。そもそも運営上の課題に対する役割ということなので、運営上の課題とは何かということになります。集客なのか、認知なのか、どういったものでしょうか。</p>
<p>石川副館長</p>	<p>まず、はじめに今回答申をいただく形はとっておりません。あくまでご意見をいただいたものを反映させていきたいということで、最終的にこういうものを作っていくというところは、今回はありませんので、そこはご了解していただきたいです。</p> <p>漠然とした状況で意見を出す話し合いも難しいのかと思います。ただ、ある程度今回や今後の話し合いの中で「こういう所を話していこう」という風に進めていく形でもいいのかと思っております。</p>
<p>横田委員</p>	<p>前回基本計画という立派な冊子をいただきました。始めから終わりまでそれを読んでみると本当によくまとめられていました。その中の 1 つに、新しい層を開拓するということが書いてあります。具体的にそれをどう盛り込んでいくかとなると、結局今の議論になっている博物館らしさを出していくか、それとも博物館らしさを一旦置いておいてとにかく来館者を増やしていくか、ということ議論すべきじゃないかと思います。</p> <p>私の意見としては先ほども申し上げましたが、1 年に 1 度くらいは少し広域の入間市周辺あるいは埼玉県周辺を含めた新しい企画を行う、そこに入間ミュージアムパートナーズさんが積極的に知識を勧めていくというのが良いかと思っています。</p>
<p>田中委員</p>	<p>運営上のものとなると非常に難しいです。素晴らしいところに着眼点を持って企画を実施してくれています。そういった所も含めて、非常に好評という話を先ほど申し上げました。</p> <p>入間ミュージアムパートナーズさんが本当にやりたいことはないのでしょうか。企画については博物館の事業の合間に行われているという面があります。良い企画の意見を出して貰い、それが市民にとってプラスなら</p>

<p>飯島責任者</p> <p>中林会長(議長)</p>	<p>ば、事業の予定をずらすということも必要かもしれません。</p> <p>展覧会の事業については、今年はテキスタイル展を行いました。来年については東京芸術大学の現代アート先生やプロの写真家の先生、作家の先生が所属するグループの展覧会を予定しております。再来年は漆の人間国宝の増村 紀一郎 先生の展覧会を考えております。指定管理最後の年には姉妹都市である佐渡を絡めたものとして、金属工芸家の宮田 藍堂 さんの展覧会を企画しています。再来年以降の企画に関しては資金の問題もありますので、そこが現在の課題となっています。</p> <p>よろしいですか。それでは以上をもちまして協議事項を終わらせていただきます。これにて議長の職を下りさせていただきます。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>年 月 日</p> <p>議 長 の 署 名 _____</p> <p>議長が指名した者の署名 _____</p>	